

第3期科学技術基本計画の投資目標について（意見）

委員・大森 彌

大変恐縮ですが、よんどころない所用があり、11月24日の会議に出席できません。前回の会議のときに、この問題に部分的には触れましたが、以下、意見を述べさせていただきます。

意見

これまで科学技術の政策分野は、政府予算の中でも相当の優先度を与えられてきました。しかし、現下の、そして今後5年間について見通される、深刻な財政状況は、従来通りの扱いを許さないところまで来ているものと思います。

こうした中でも科学技術予算の拡充を求めていくのであれば、国民が科学技術の意義をよく理解し、支持してくれることが前提ないし必要条件となります。

したがって、科学技術の現状を、達成しえた、あるいは達成しつつある成果という観点から、これまで以上に厳しく見直し、基本計画案に盛り込まれている抜本的なシステム改革を確実に実行していくことが不可欠だと思います。「初めに投資目標ありき」と受け取られるような議論を進めるならば、昨今の情勢下では国民の支持を得ることは到底無理ではないかと思えます。

第3期についても投資目標を設定することを「是」としますが、その場合には、基本計画案で示された改革を、どのような体制及びスケジュールで実行していくのかを、国民に納得できる形で明らかにすべきだと考えます。